

## 航空従事者学科試験問題

P37

資格	航空通信士	題数及び時間	20題 40分
科目	航法〔科目コード：01〕	記号	C4XX010870

注 意 (1) 「航空従事者学科試験答案用紙」(マークシート)の所定の欄に、「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目」、「科目コード」、「科目コードのマーク」、「資格」、「種類」、「氏名」及び「生年月日」を記入すること。

「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目コード」及び「科目コードのマーク」の何れかに誤りがあると、コンピュータによる採点処理が不可能となるので当該科目は不合格となります。

(2) 解答は「航空従事者学科試験答案用紙」(マークシート)に記入すること。

配 点 1問 5点

判定基準 合格は100点満点の70点以上とする。

- 問 1 次の記述について誤りはどれか。  
 (1) 日本標準時と協定世界時の差は9時間である。  
 (2) 飛行計画に記入する時刻は協定世界時を使用する。  
 (3) 協定世界時はグリニッジを通る子午線を基準としている。  
 (4) 日本標準時は東京天文台を通る子午線を基準としている。
- 問 2 相対方位について正しいものはどれか。  
 (1) 航空機からある地点への方向を機位を通る子午線の真北から測った水平角度である。  
 (2) 航空機が地表面上を飛行した軌跡の真方位である。  
 (3) 航空機からある地点への方向を機首尾線から時計回りに360°まで測った水平角度である。  
 (4) 航空機からある地点への方向を機位を通る子午線の磁北から測った水平角度である。
- 問 3 見張りとは空中衝突の防止について正しいものはどれか。  
 (1) 効果的な見張りのため、常に眼は外部の一点に集中させておくべきである。  
 (2) 自機に進路権がある場合は、相手が回避するまで待つ必要がある。  
 (3) 航空機がレーダー誘導を受けた場合は、管制側に責任があるので見張りの義務を負うことはない。  
 (4) 航空機内の計器等と遠距離の目標とを交互に見る場合、焦点を合わせるのに数秒かかることを認識しておくべきである。
- 問 4 経度、緯度について正しいものはどれか。  
 (1) 経度1度は「60nm」である。  
 (2) 経度1分は「1 nm」である。  
 (3) 緯度1度は「60nm」である。  
 (4) 緯度1分は「5 nm」である。
- 問 5 真方位について正しいものはどれか。  
 (1) 機首方位に偏差を加えたものである。  
 (2) 磁方位から自差を差し引いたものである。  
 (3) 航空機の位置からある地点への方向を、機位をとる子午線の真北から測定した水平角度である。  
 (4) 機首方位からある地点への方位を測定したものである。
- 問 6 A点直上からB点に向けて飛行中、B点で右に1.5マイルずれていた。AB間の距離が20マイルとするとコースから角度でどのくらいのずれであるか近いものはどれか。  
 (1) 2度  
 (2) 5度  
 (3) 8度  
 (4) 11度
- 問 7 航空図についての記述(a)～(d)の正誤の組み合わせについて(1)～(4)の中で正しいものはどれか。  
 (a) ランバート航空図において子午線と平行線の接線は直交する。  
 (b) ランバート航空図は距離誤差が極めて小さく、高緯度地方の中距離用として使用される。  
 (c) メルカートル航空図においては子午線が平行であるため極を表すことができない。  
 (d) メルカートル航空図においては子午線が平行であるため航程線が直線となる。
- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | (a) | (b) | (c) | (d) |
| (1) | 正   | 誤   | 正   | 誤   |
| (2) | 誤   | 正   | 誤   | 誤   |
| (3) | 正   | 誤   | 正   | 正   |
| (4) | 正   | 正   | 正   | 正   |

- 問 8 計器高度と真高度の関係について正しいものはどれか。
- (1) QNH一定で計器高度を変えずに巡航中、気圧が変化しても真高度は変わらない。
  - (2) QNH一定で計器高度を変えずに巡航中、気温の低い空域に入ると真高度は高くなる。
  - (3) QNH一定で計器高度を変えずに巡航中、気温の低い空域に入ると真高度は低くなる。
  - (4) QNH一定で計器高度を変えずに巡航中、気温が変化しても真高度は変わらない。

- 問 9 80分間で燃料を24ガロン消費した時の燃料消費率で正しいものはどれか。
- (1) 12 GPH
  - (2) 14 GPH
  - (3) 16 GPH
  - (4) 18 GPH

- 問 10 次の換算法として誤りはどれか。
- (1) 1キログラムは「2.2ポンド」である。
  - (2) 1(米)ガロンは「4クォート」である。
  - (3) 1キロメートルは「0.33nm」である。
  - (4) 1(海)マイルは「1,852メートル」である。

- 問 11 偏差について正しいものはどれか。
- (1) 同じ緯度ならどこでも同じ偏差である。
  - (2) 同じ経度ならどこでも同じ偏差である。
  - (3) 日本付近では偏差は「E」で表す。
  - (4) 偏差は経年変化する場合がある。

- 問 12 MH(磁針路)とTH(真針路)の関係について正しいものはどれか。

	TH	VAR	MH
(1)	064	7E	071
(2)	077	6W	071
(3)	064	7W	071
(4)	064	7W	057

- 問 13 VORのラジアルの意味について正しいものはどれか。
- (1) VOR局への真方位である。
  - (2) VOR局からの磁方位である。
  - (3) VOR局への磁方位である。
  - (4) VOR局からの真方位である。

- 問 14 低酸素症の症状で誤りはどれか。  
( 1 ) 自覚症状がはっきりしないので、その影響を自ら認識することは難しい。  
( 2 ) 飛行中緊張状態に陥り、必要以上に体内の炭酸ガスを排出するために起こる。  
( 3 ) 判断力、記憶レベルが低下してくる。  
( 4 ) 苦痛をほとんど感じないので自覚が難しい。
- 問 15 対地高度 6,000 ft を飛行中、チェックポイントを「真横右下 30 度」に発見した。この時の機体からチェックポイントまでの水平距離で正しいものはどれか。  
( 1 ) 約 1.0 マイル  
( 2 ) 約 1.7 マイル  
( 3 ) 約 2.0 マイル  
( 4 ) 約 2.7 マイル
- 問 16 航法の三作業の組み合わせで正しいものはどれか。  
( 1 ) 機位の確認、針路の決定、気象の解析  
( 2 ) 機位の確認、針路の決定、到着予定時刻の算出  
( 3 ) 針路の決定、必要燃料の計算、到着予定時刻の算出  
( 4 ) 気象の解析、航空情報の分析、到着予定時刻の算出
- 問 17 日本時間の午後 8 時 30 分に地上滑走を始める場合、飛行計画書第 13 項に記入する移動開始予定時刻で正しいものはどれか。  
( 1 ) 0830  
( 2 ) 1130  
( 3 ) 2030  
( 4 ) 2330
- 問 18 磁針路 215 度で飛行中、9 時方向に A 飛行場を発見した。この時の航空機の関係位置で正しいものはどれか。  
( 1 ) A 飛行場の真東の位置にいる。  
( 2 ) A 飛行場の南東の位置にいる。  
( 3 ) A 飛行場の真西の位置にいる。  
( 4 ) A 飛行場の北西の位置にいる。
- 問 19 太陽が経度 30 度を移動するのに要する時間で正しいものはどれか。  
( 1 ) 60 分  
( 2 ) 90 分  
( 3 ) 120 分  
( 4 ) 180 分
- 問 20 次の記述で正しいものはどれか。  
( 1 ) DA と WCA は同一のものである。  
( 2 ) 風が吹いているときは飛行中必ず DA が生ずる。  
( 3 ) TAS が速くなると DA は大きくなる。  
( 4 ) DA と機体の大きさとは関係しない。